

ひと☆人

伝統文化の継承で町を元気に

漆原東八木節保存会（日桜組）^{ひざくらぐみ}会長
しおのみえこ
塩野 美恵子 さん



インタビューの宮内議員・春山議員と

Q漆原東八木節保存会（日桜組）は結成して、どのくらいになりますか。

A戦時中の中断はあったようですが、約100年前に青年団として発足しました。当時は娯楽も少なく、地域の若者は皆さん参加していたようです。昭和の後期から地域文化の継承と伝統文化を体験・習得させるために、小学生を対象に傘踊りを始め、当時は当たり前のように子どもたちが参加してくれました。

Q普段どのような活動をしているのですか。

Aおはやしは月1回、傘踊りは行事の前に10日間くらい練習しています。最近は町内で活動する八木節団体と合同で練習もしています。



傘踊りを教える塩野さん

Q吉岡町は若い子育て世代が多数移住し、子どもの人数が増えています。その中で、若い世代や子どもたちとの関わりについて、会としてどのように取り組まれていますか。

A育成会の役員さんと相談して、なるべく子どもに参加してもらえよう努力しています。今までは小学校卒業と同時に会も卒業してしま

いますが、最近では、中学生になっても続けてくれる子どもがいてとてもうれしいです。

Q町議会や町政に望むことはありますか。

A町をあげて伝統文化の継承と育成に力を注いでほしいです。もっと活躍する場所や機会があれば、若い人たちの励みになると思います。

Q最後に、住民の皆さんに一言お願いします。

A以前は傘踊りと一緒に扇子踊りもしていたので、復活できるように、もっと大人にも参加してほしいです。他地区との交流も始まり、八木節を通して吉岡町の一体感を感じています。また、各地域で行なわれているお祭りや行事にも積極的に参加をし、地域を盛り上げてもらいたいです。伝統文化・伝統芸能継承で町を元気にしたいです。老若男女問わず、多くの人に参加をお願いします。



合同練習でおはやしにも熱が入る

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

議会広報常任委員会が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、ご意見や思いを聴きます。今回は「伝統文化と地域のつながり」をテーマに、皆さんにお聴きしました。



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員



はるやま かずひさ
春山 和久 議員



お祭り練習にたくさん参加してほしいです

指導者の高齢化と後継者の育成、若い世代の参加増が課題です

お祭り当日だけでなく、日ごろから伝統文化に興味をもってほしいです

既存の芸能だけではなく、新しい芸能を取り入れる試みも必要です

他地区との連携についても考えていきたいです



お祭りなどを通して、住民同士のつながりが広がってほしいです



子育て世代以外の住民の交流が広がってほしいです

誰でも参加しやすい行事が少ないと思います

子どもの思い出になるような行事を継続してほしいです

時代に応じた見直しを行うことが継続につながると感じています

